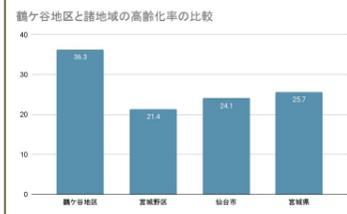


NEXT 50 ～鶴ケ谷の未来に向けて～

探究2班

背景

鶴ケ谷地区の高齢化率⇒**36.3%**



高齢化の改善は現実的ではない

すべての世代の人が楽しめる街を目指す

目的

50年後も全世代に受け入れられる、高齢化率が上がっても楽しめる街にする

調査①

◎ワークショップを実施（8月17日）

参加者：つるがや元気会NEXT50委員会
三高生
鶴ケ谷中学校の生徒
東北学院大学工学部の皆さん

私達の役割

⇒ファシリテーターとして話し合いの進行を行う



テーマとその結果

1. 鶴ケ谷団地の魅力のあるスポットを挙げる

店舗	麺屋くまがい、アバイン、つつみ庵、なごみ
自然	大堤沼、木蓮、ひょうたん池、桜道、外人墓地
具体案	「はくぼたん」から「パンセ」に行ってベンチで食べられるエリア

2. 団地内でスタンプラリーを実施することを想定して、どのようにすれば実施できるかを考える

ツール	紙媒体(御朱印帳など) スマートフォン
コース	木蓮や桜が見れるコース フォトスポットを周るコース 地区の行事や高齢者施設を含むコース
種類	謎解きスタンプラリー 鶴ケ谷団地に住む人向け 観光者向け
その他	割引券や商品券などの特典をつける 地域ごとにスタンプラリーの達成人数を競う

考察

1. スタンプラリーを実現するためには飲食店、企業などの連携が必要だと考えられる。
2. インスタグラムを活性化し鶴ケ谷の魅力をもっと多くの人に伝えていくべきだと考えられる。

参考文献

統計局ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

仙台市鶴ケ谷第一市営住宅団地再整備事業における地域コミュニティの活性化の取り組みについて

<http://www.thr.mlit.go.jp/Bumon/B00097/k00360/happyoukai/H22/ronbun/6-23.pdf>

まとめ

◎3つの調査. 実験を通して

- ・鶴ケ谷地域に住む方々から直接鶴ケ谷の魅力を直接聞かせていただいたことで私達自身の知識を深めることができた。
- ・神戸市の取り組みを学んだことでスタンプラリー実施のために、これから行うべき策を具体的に示すことができた。
- ・スタンプラリー実施の際には、その策を意識して地域の施設の方々と協力し、世代間の交流を生むことができた。

調査②

◎ウォーキングマップ

つるがや元気会で昨年

「高齢者の健康増進」

を目的として作られ、鶴ケ谷地区の全世帯に配られた



課題が多くあるため2023年版を作成

- 全世代に受け入れられるマップ
- 若者の意見が必要

大きな改善点

- ・QRコードを用いた詳しい情報の発信
- ・並木の種類を色分け
- ・写真の厳選
- ・曲がる場所を表示



調査③

◎スタンプラリーの実施(5月3日)

目的	鶴ケ谷の施設を歩いて巡り、鶴ケ谷の魅力を伝えることで興味を持ってもらう
対象	三高生
対象店舗	ひまわり手芸店 Pensee 麺屋くまがい GOCHI-DELI 花しょう なご味 白牡丹
ルール	①上記の店舗のいずれかに訪問する ②店舗に貼ってあるポスターを確認する ③ポスターに書いてある問題の答えをお店の人に確認する ④回答用フォームに書き込む ⑤①～④を繰り返してすべての問題に答えたらクリア

○参加者の感想

- ・初めて知るお店、絶景スポットも多かったのが、参加できて良かった(1年女子)
- ・質問にただ答えるだけでなく、お店の方と話す機会ができる良い企画だなと感じた(3年女子)

○改善点

- ・各店舗の間隔が広い→2, 3個のコースに分ける
- ・所要時間が長い→自転車の利用、事前に所要時間を伝える

結果

1. インスタグラムでの店舗の魅力を発信や、宣伝用のポスター作成など、広報活動に取り組めた。
2. 三高生と地域の方々との交流のきっかけになり、楽しんでもらった。